

水道の凍結防止操作方法 (水抜きと通水方法)

○ 水抜き・湯抜き操作

(1) 台所・洗面・浴室の蛇口から、水とお湯を少し流しておきます。※レバーの場合は、真ん中にして下さい。



レバーは真ん中に。



水、お湯ともに少し開く。

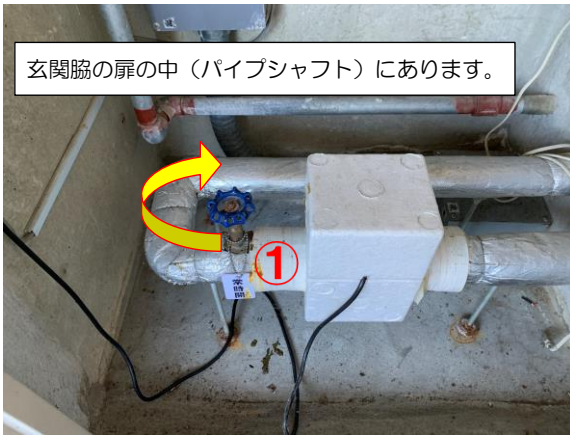


シャワーホースは床に。



温度設定はロックボタン(赤)前後にし、カラン側から水を出してください。

(2) 止水栓(元栓)を閉め、水抜き栓、湯抜き栓を操作し、水抜き(湯抜き)を行います。



玄関脇の扉の中(パイプシャフト)にあります。

①の止水栓ハンドルを時計回りに回して水を止めます。
△凍結防止ヒーターコンセントが抜けていないか確認。



洗面台の中、または洗面所床にあります。

②の水抜き栓を時計回りに回して、水を抜きます。
③の湯抜き栓を反時計回りに回して、お湯を抜きます。

(3) 浴室の蛇口ハンドルをシャワー側に切り替えて、シャワーホースからも水を抜きます。

※長期不在にする場合は、洗濯機の蛇口からホースを外します。また、トイレの水を流してタンクを空にします。



緊急止水弁

ホースを外した後、緊急止水弁を押して、水を抜きます。
※水が出ますので、タオルなどで受けてください。



ロックボタン

ロックボタンを使用して流した場合は、解除を忘れずに。
※ロックボタンを使用しなくても、2回程流すと空になります。

(4) 事故防止のため、全ての蛇口を水が出ないように閉めておいてください。

※ 温水器本体の凍結を防止する為、電気のブレーカーは切らないでください。

以上で水抜き操作は完了です。

○ 通水操作 (水・お湯を出す時)

(1) 全ての蛇口が閉まっていること、洗濯機ホースが繋がっていることを確認してください。

(2) 水抜き操作時の、逆の手順で通水作業を行います。

③の湯抜き栓を時計回りに回します。⇒ ②の水抜き栓を反時計回りに回します。⇒ ①の止水栓を反時計回りに回して水を出します。

(3) 各蛇口のレバー、ハンドルをゆっくりと少しずつ開いて水を出します。

※ 最初は、水と一緒に配管の中の空気も噴き出しますので、水の飛び散りにご注意ください。

また、使い始めの頃は、濁った水が出る場合がありますので、濁りが無くなるまで流してからご使用ください。

以上で通水操作は完了です。

△ 止水栓、水抜き栓、湯抜き栓のハンドルは、全開または全閉でご使用ください。中途半端な開閉操作は、漏水事故の原因となりますのでご注意ください。